

科目名		授業形態		担当教員名	
う蝕予防処置		講義・演習		八尾 典江・三村 明美・野崎 愛	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
45 時間（ 2 単位）		23 回		2 年次	前期
授業の目的・概要					
う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識、技術、および態度を習得する。					
授業の到達目標					
1. う蝕予防処置の基礎知識について説明できる。 2. う蝕活動性試験を実施し、評価できる。 3. フッ化物歯面塗布法を実施できる。 4. フッ化物洗口法の基礎知識を説明できる。 5. フッ化物配合歯磨剤の基礎知識を説明できる。			6. 小窩裂溝填塞法の基礎知識を説明できる。 7. 小窩裂溝填塞を実施できる。 8. う蝕予防処置におけるメンテナンスの必要性を説明できる。 9. 臨床実習での器材準備ができる。 10. 規則を守り積極的に授業に参加することができる。		
授業計画					
回	内容				
1	う蝕の知識	講義	16	う蝕活動性試験	演習
2	う蝕の基礎知識 食品とう蝕誘発性	講義	17	う蝕活動性試験	講義・演習
3	フッ化物総論 フッ化物歯面塗布	講義	18	登院試験 1	
4	フッ化物総論 フッ化物洗口	講義	19	登院試験 2	
5	フッ化物局所応用法 フッ化物配合歯磨剤	講義	20	登院試験 3	
6	フッ化物局所応用法（ホームケア）	演習	21	登院試験 4	
7	フッ化物局所応用法（ホームケア）	演習	22	登院試験 5	
8	フッ化物の毒性	講義	23	登院試験 6	
9	フッ化物局所応用法	相互演習			
10	フッ化物局所応用法	相互演習			
11	フッ化物局所応用法	相互演習			
12	フッ化物局所応用法	相互演習			
13	小窩裂溝填塞法	講義			
14	小窩裂溝填塞法	演習			
15	う蝕活動性試験	講義			
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
筆記試験	50%	毎回規定通りに提出すること			
レポート・課題	30%				
小テスト					
平常点	10%	授業態度・身だしなみ			
その他	10%	実技テスト			
自由記載	必要に応じてプリントを配布する				
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論			全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学			全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
特に指定しない					
自由記載					
備考					